



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

98.11.24 No. 4883

## 運転保安確立 - 奪われた労働条件を取り戻そう

その1

# 12月ダイ改交渉はじまる!

一二月ダイ改に向けた団体交渉が一七日から始まった。

今次ダイ改での問題点としては、内房線及び総武本線の特急列車の一部について、内房線は君津以南、総武本線は成東以東を普通列車扱いとし、その上で同時刻に設定されている普通列車を削減(内房線は君津-館山間一往復半、総武本線は成東-銚子間一往復)するというものである。

これは、この間、ダイ改毎にJRが行なってきたローカル線の切り捨てをさらに進めようとするもので、鉄道会社としての公共性を自らが放棄し、営利のためならば地域住民の足など切つて当たり前というJRの傲慢な姿勢をそのまま反映させたものである。

こうしたJRの姿勢こそが昨年一〇月の大月事故をはじめ今年一年間を通じて輸送混乱や車両故障が頻発するという、鉄道会社として列車をきちんと走らせるという能力が完全に崩壊させてしまったと言わなければならぬ。

動労千葉は、一七日から始まった団体交渉の中で千葉支社に対して、ローカル線切り捨ての中止をはじめ、安全施策の実施や各区毎の問題点の改善を求めた。職場での闘いをさらに強化し、運転保安確立-奪われた労働条件の奪回、労務政策を優先させた一切の差別を粉砕しよう!

団交の概要は以下のとおり。

### 普通列車削減を止める

**組合** 今回のダイ改において、内房線及び総武本線の特急列車のうち一部について、各駅停車扱いを行ない、これに合わせて普通列車を削減することを提案しているが、これは、鉄道会社としての使命である公共性を放棄するものであり、地域住民の足を切り捨てるもので、中止すべきだ。

**会社** 他の輸送機関との競争等により需要が見込めないことから今回策定した。また、地域の足を確保しつつ改正を行なっているが、利用実態を見ながら列車設定を行なった。

**組** 特急列車の各駅停車扱いは、一八三系車両を使うことから特別の場合であり、乗客との関係でも普通ではない。千葉の場合は他の支社などの特急と違って距離も長くない中で内房線は君津、総武本線は成東までしか行かない特急の使命とは何かということになつてしまふ。会社の考え方が全く分からない。ローカル線を切るための安易な考えから出たものか考えられない。

**会** 三〇〇一Mの場合、東京・君津間の乗車が七四名、君津・館山間の乗車が二九名になつており、特急としての使命がどこまであるのかも含め、効率的な面も考慮した。

### 会社理念が全く見えない

**組** 特急の場合、二五五系と一八三系のスジがあるが、本来の特急の位置付けを変えてはならない。しかも、二五五系では絶対各駅停車化などはおこなわないではないか。

これまでも、NEXを傍若無人に走り回らせ、乱れたら優先して通すなど、結局地元を無視するというを行なつてきている。

こんなことばかりで、会社が、将来の鉄道をどのように作ろうとしているのか、理念が全く見えてこない。

**会** 将来については、今後も状況を見なければならぬが、「急行」の設定も含めて検討しなければならぬと考えている。

**組** この問題は、通勤・通学の足を確保するために普通列車を増やすべきであり、この間会社が切つてきたところの列車を増やし、公共性を確保すべきだ。

**会** 公共性とともに利益も得なければならぬが、公益性については今後も確保していきたい。

### 事故対策を行え

**組** 特急を各駅停車する場合、ドアが二カ所しかなく乗降時間がかかるため停車時を見直しを要求しているが、どのように考えているのか。

**会** 停車時分については、内房線の場合、青堀-二分三〇秒、大貫-三分、佐貫町-三〇秒、上総湊-三〇秒の設定

にした。

**組** 各駅停車扱いにする場合、通過事故等さまざまな事故を想定して対策を取らなければならぬが、通過事故防止については、どのように考えているのか。

**会** 停車駅通過防止装置については、九両編成の場合は搭載しており、内房線にはすでに付いている。総武本線については八両編成のため搭載していないが、現状で行なつてもらいたい。

**組** 停止目標は高いものに換えようとした。また、時刻表はページが変わるので運転士としては注意できると考えている。

**組** 現場では危機意識をもつて「喚起板」の設置などを考えているようだが、この問題はいずれおこるようなものではない、事故が起こらないように会社が事前に対策をとるべきだ。

**会** 成田線で各駅停車扱いをすでにおこなっているが、平成七年から通過事故は起こつていない。車種と通過事故の問題は、関係があるとは言えないのではないか。

**組** 今の言葉は、何か起きなければ動かないということではないか。大月事故の後、ATSをハンドルで自動投入するようにしたが、犠牲が出なければ何もやらないということと同じだ。

**会** 今後検討していきたい。(つづく)